

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026 年 7 月 26 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部
留学(渡航)した時の学年	3 年生
帰国年月日	2026 年 7 月 10 日
明治大学卒業予定年月	2028 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	オーストリア
留学先大学	ザルツブルク大学(日本語名) Paris Lodron Universität Salzburg (現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	ドイツ語/ 英語、ドイツ語
留学期間	2025 年 9 月～2026 年 7 月
留学先大学で在籍した学年	3 年生
留学先の所属学部等	☒ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: コミュニケーション学部 現地言語での名称: Department of Communication Studies ☐ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☒ 国立 ☐ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 10 月上旬～1 月下旬 2 学期: 3 月上旬～7 月上旬 3 学期: 4 学期:
学生数	18000 人
創立年	1622 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (EUR) (1 現地通貨 = 184 円)	B 日本円	備考
授業料	300	円	ドイツ語(€240)+英語(€60) 語学センター開催の授業は一コマ当たり 費用が€60
宿舍費	4567.5	円	フラットシェア: 月€570×4 カ月 ルームシェア: 月€305×7 カ月+半月 分€152.5
食費	約 1200	円	月約€120×10 カ月
図書費		円	
学用品費	88.6	円	ドイツ語教材 32.2/イギリス英語教材€16 PlusOnline €20.2/semester
携帯・インターネット費	116.29	円	SIM カード€1.99+€9.9×10 カ月。 TVtax €15.3。寮ではかからなかった。
現地交通費	295	円	大学まではバスを利用。KlimaTicket U26 というザルツブルク州全域のバス鉄道が 対象の1年間定期を購入しました。 (☐ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	約 1000	円	交際費・外食等
旅費(留学中)		約 1200000 円	
被服費	160	円	日本より服は非常に高いため、HUMANA という vintage shop を利用しました。
医療費	24.55	円	処方薬
保険費	589.86	104780 円	形態: 明治大学指定海外旅行保険(11 カ月)+在留許可取得のために健康保 険 ÖGK に加入した。月€78.84。
渡航旅費		301910 円	
ビザ申請費	286	円	申請時€186+受け取り時€100
雑費	約 1000	円	日用品、調理道具、シーツ、スーツケー ス等
その他	42	円	Meldezettel(住民登録)申請時
その他	262.44	円	国際郵便
合計 ※現地通貨 および 円	9932.24 (=1827532 円)	1606690 円	
総計(A+B) ※円		約 3434222 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：成田 目的地：ザルツブルク 経由地：ドバイ

復路 出発地：ザルツブルク 目的地：羽田 経由地：イスタンブール

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：Emirates⇒flydubai 料金：154780

復路 航空会社：Turkish Airline 料金：147130 ∴合計：301910

航空券購入方法

☒ 旅行代理店(店名：往路:HIS 復路:Trip.com)

☐ インターネット(サイト名：)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

☒ 学生寮(寮の名前：Home4students Glockengasse) ☒ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 1 人)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

渡航前に WG-Gesucht というアプリを使ってフラットシェアの部屋を確保しましたが、家賃も高く、家に到着してみると広告で見た家の状態よりもずっと悪く、家主も不親切な方だったため、渡航後も OEAD というサイトや寮に個別に申し込み、waiting list で待機状態でした。Home4students Glockengasse 寮から 12 月から入居可能と 11 月半ば連絡を受けました。フラットシェアの契約は 12 月末までだったため交渉したところ、1 月からの契約では他の学生に入居順番が回ってしまうため不可能だが 12 月半ばから越せるように契約しました。12 月の半月間は部屋を二個持ちするという不思議な状態にはなってしまいましたが、引っ越し先の部屋が価格の割にとても良くて満足しています。引っ越し先の部屋はルームシェアでしたが、ルームメイトがとても良い方で過ごしやすかったです。バス・トイレはルームシェアの子と共有で、1 フロアに 2 つキッチンがあり共有していましたが、キッチンは料理しようとしたときにほかの寮生と被ることも多々あり、時間をずらさなければならず不便でした。ただキッチンで他の学生とよく交流できたのは大きなメリットでした。また私の部屋は 3 階でしたが、最上階の 4 階に共有フロアがあり、たまに夜中でもそこで騒いでる声が聞こえてきました。ただキッチンの混雑以外はほぼ不満がなく、留学の後半は快適に暮らせました。

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

ザルツブルクには大学直属の寮はなく、また寮の数も少ないため、留学が決定したらすぐ探し始めることを推奨します。留学開始の冬学期には寮に入れず、フラットシェアの部屋で生活している学生もかなりの数いそうでした。私留学先が決定した後すぐに寮探しをしなかったため、気が付いた時にはすべての寮の部屋が埋まってしまい、油断と怠惰のつけが回ってきました。なんとかフラットシェアの部屋を確保したは良いものの最初の部屋は本当に家主との相性が悪く、自業自得ではありますが最初の慣れない海外生活と相まって苦しむ大きな原因の一つになりました。家主や部屋のトラブルが寮であれば少なく、引っ越し先の寮の部屋の不備にはすぐ対応していただけたため、個人的にはなんとしても寮の部屋が良いです。

またコロナ禍に渡航した方の留学報告書には、現地で寮探しをして部屋を得ることができたとありますが、2026 年現在は寮であれば不可能です。アメリカからザルツブルクに直前で留学先が変更になった方で、現地で寮探しをものの部屋を見つけることができず、留学を辞退し帰国した方もいたため注意です。家賃に目を付けなければ寮ではなく、フラットシェアの部屋の広告を掲載しているサイトは複数あるため見つけることは可能ですが、やはり条件の良い部屋を見つけることは厳しそうです。

私と同じ轍を踏まないで下さい。

また駅に近く様々なスーパーも近くに多くある、新市街の寮がお勧めです。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

- ☐ なし
☒ あり (治療を受けた場所: Hautärzte Linzer Gasse/皮膚科)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

- ☒ なし
☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

旅行中イタリア・ミラノ中央駅で電車乗り換えで急いで移動していた際、ホームへ降りるエレベーターへ向かった時、周囲の女性たちが「あそこのエスカレーターは壊れていてだめだわ」「それならこっちのエレベーターを使わないと!」「こっちよ!」というような周囲の人たちに呼びかける女性たちの声に誘導される形でエレベーターに乗り込んでしまいました。そのエレベーターの中央で私と友人一人はその女性たちに囲まれる形となりました。

おそろぐリュックを背負っていたら勝手にファスナーを開けられて物を取られていました。その時私は貴重品はボディバックに入れ服の内側に、スマホはネックストラップを型からかけ手で握り、南京錠をかけたショルダーバックと手にスーツケース、ジャケット・ズボンのポケットには何も入れていなかったため、何も取られずに済みました。狙いやすい形で荷物を持っていなかったためあまりまさぐられず、平穩(?)に終わりました。私達だけホームに出て、そのジプシーの人たちはエレベーターに乗ったまま上の階に戻っていったようで、結果的に道案内をされただけの形になりました。一緒にいた友人はスーツケースの持ち手を握られそうになって振り払ったそうです。

ほんの数秒、エレベーターで一階分下に降りる一瞬でしたが、後から恐怖が襲い掛かってきたので、イタリアではほかの旅行先にもまして注意すべきだと感じました。後から考えると、特にミラノ中央駅スリが多発すると聞いていて警戒心もあったにもかかわらず、誘導されてしまったのは軽率でした。イタリアではジプシーや不法移民の集団スリが横行しているので注意してください。

友人が教えてくれたのですが、Action という店で安価に旅行に十分なサイズのスーツケースが買えるので、目が届かないリュックよりもお勧めです。また盗難されないように旅行先では必ずスーツケースをコインロッカーに置くか、Luggage Storage のあるホテルを予約しました。街を歩く時はチャック付きのショルダーバックで目を離さないように前側に掛けていました。またホテルのロッカーは鍵が付いていないことも多かったため、自前の南京錠が必須でした。日本の 100 均などで南京錠を用意していくのがお勧めです。また、パリに泊った時に下調べが不十分で治安が悪めの地域に泊まってしまったため、以降は治安の良い場所か、夜遅くとも観光地に近く人目が多い場所か、宿と公共交通機関が近い場所に宿を取るよう意識しました。

ザルツブルクでは、夜中のトラムがない時間帯に、なるべく人目につくところでしたが一人で歩いても大丈夫なくらいには治安が良かったです。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例：寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。) 1 月の 2 週間ほどインターネット接続が不安定で、回線が遅くメッセージを送っても中々相手の元へ届かない期間がありました。一時的のものでその後は何も問題ありませんでした。 現地では Hofer で購入した Hot という SIM カードを利用し、1 カ月ごとのプランを購入していました。E-SIM だと電話番号が使えないため、長期滞在の方は SIM カードを購入することをお勧めします。旅行の際もプランに EU ローミングが含まれているため EU 圏内でも利用できますが、上限に達するとプランよりもかなり割高の追加料金が請求されます。私は途中から不足分は Airalo という E-SIM を旅行先の国で個別に購入していました。結構な額を不足分に取りられてしまったため、もっと早くから E-SIM を組み合わせて使うべきでした。 また大学では Eduroam という WLAN を利用することができました。 参考：EduroamTutorial aktuell2021.pdf
5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？ (例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。) 親から WISE で現地で開設した Sparkasse の銀行口座に送金してもらっていました。Sparkasse はネットで学生口座を開設するとボーナスとして€50 がもらえました。日本で WISE カードを作っておくと便利です。
6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。 ・防寒具&冬服：渡航した 9 月上旬はまだそこまで寒くないだろう、と予測して初冬服をあまり持っていかなかったのですが、すぐに寒くなったため、急いで国際郵便で親から冬服を送ってもらうこととなりました。最初から冬服を多めに持っていくべきでした。 ・また冬用のブーツは購入する必要はありませんでしたが、私は新品のスニーカーを持って行って冬に雪と土の混じった地面を歩きボロボロにしてしまったため、動きやすく汚れてもよい靴を持っていくと思います。 ・南京錠予備も含めて 2.3 個 ・カイロ
7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。 (例：渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	☒ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)	
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
☐ 出発前 ☒ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
German as a Foreign Language. Basic Level II, A2		
科目設置学部・研究科	German as a foreign language	
履修期間	Winter semester 2025/26	
単位数	12ECTS Credits	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 4 回	
担当教授	Maier, Sebastian	
授業内容	教科書に沿って文法や単語を授業を受け、教科書とセットのワークブックで復習が課題として毎回出される。	
試験・課題等	小テスト・中間テスト・期末テスト・口語テスト	
感想を自由記入	ドイツ語をドイツ語で教える形で、英語での指示はまれでした。先生のドイツ語の指示や説明が聞き取れないことも多く、授業中は付いていくのに必死でした。ただ先生がとても面白くて良い方で、なんとかついてこれるように気を配ってくださったのがありがたかったです。またペアワークも多くて楽しかったものの、お互いに訛りのあるドイツ語を話し合っているのもこれもまた聞き取りが難しかったです。週に 4 回授業があるため進度が早く、復習が追いつかないことがありました。私は大学の第二言語でドイツ語を取ってはいったものの、もっと留学前に復習しておけば楽だったと思います。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
English B1		
科目設置学部・研究科	Language center	
履修期間	Winter semester 2025/26	
単位数	3ECTS Credits	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回	
担当教授	Ahrer, Lucy	
授業内容	教科書に合わせて文法事項や単語を学習する。	
試験・課題等	課題提出×4 回、中間テスト、口語テスト、期末テスト	
感想を自由記入	ペアワークが多く、英語を話す機会が話す機会を多く設けてくれる先生でスピーキングの練習になりました。ただ習う教科書の内容としては文法も単語なども全体的に簡単すぎたため、受講前のレベル分けのテストで B2 に受からなかったものの、受かっていたらもっと自分の英語力を伸ばせたのではないかと思いますと悔しいです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Sustainable Fashion, Design and Arts		
科目設置学部・研究科	Science & Arts	
履修期間	Winter semester 2025/26	
単位数	4ECTS Credits	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 分が 回	
担当教授	Posch, Doris	
授業内容	ゲスト講師が開催するワークショップへの参加を通して持続可能なものについて考える。	
試験・課題等	プレゼンテーション、作品(Final Project)提出	
感想を自由記入	不定期開催の授業で、全 6 回、主に 1 月に行われました。回数が少ない代わりに 3 時間半の授業が 4 回、5 時間半、7 時間半が一回ずつでした。やはり授業時間が長いと、集中力が切れることも多かったですが、しかしゲスト講師が呼ばれてワークショップに参加したり、先生が十分なくらい休憩を取ってくださいました。ワークショップでは VR ゴーグルを体験したり、学生全体で参加するものもあったりと、滅多にない取り組みができて良かったです。履修を組んだ時はそこまで考えが及ばなかったのですが、この授業は 1 月に集中しているのと相まって、他のテスト勉強とこの授業、そしてこの授業の課題で忙しくなりました。参加している学生みんなが環境意識が強く、様々な国出身の方がいるので、作品も多様で面白かったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Gender and Power: Introduction to Gender Studies		
科目設置学部・研究科	Dept. of Political Science	
履修期間	Winter semester 2025/26	
単位数	3ECTS Credits	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回	
担当教授	Lefkofridi, Zoe	
授業内容	ジェンダー不平等と権力の関係について、PowerPoint に沿って学習する。	
試験・課題等	期末テストのみ	
感想を自由記入	ジェンダーの社会問題について以前から興味があったため、学びになりました。Guest Lecture が 3 回ありました。期末テスト 1 回で成績が決まるものの、テストは選択式のみなので容易でした。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Economic Policy		
科目設置学部・研究科	Economics	
履修期間	Summer semester 2026	
単位数	3ECTS Credits	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回	
担当教授	Paetzold, Jörg Manfred	
授業内容	公共政策やジェンダー、環境、不平等など、経済とその他の要素の関係性を学習する。	
試験・課題等	期末テストのみ	
感想を自由記入	経済の授業を明治大学でも全くとっていませんでしたので授業中に内容や図をスムーズに理解することは難しかったです。しかしテストには計算問題は 1.2 問しか出題されず、主に単語の暗記などをしていれば比較的容易でした。私は社会問題に関心があるため、経済と社会問題の関係性も大いに学べてよかったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Environmental and Climate History II: Sustainability	
科目設置学部・研究科	Dept. of History
履修期間	Summer semester 2026
単位数	3ECTS Credits
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回
担当教授	Haumann, Sebastian
授業内容	環境史の進歩
試験・課題等	期末テストのみ
感想を自由記入	以前他学部履修で環境の授業を取っていたのですが、ここまで体系的な内容の授業ではなかったため、基礎的な知識を身に着けられました。今までの環境への取り組みや将来への問題点、そしてそこから持続可能な開発にするにはどうすればよいか、という実践的で興味のある内容を丁寧に学べたので良かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Comics and Visual Storytelling for Planetary Well-Being	
科目設置学部・研究科	Science & Arts
履修期間	Summer semester 2026
単位数	2ECTS Credits
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 分が 回
担当教授	Egger, Bettina Julia
授業内容	環境についての Article を読んで持続可能性への知見を深めるつつ、コミックの技法を学び、実際に絵をかいて描く力も身につける。
試験・課題等	作品(Final Project)提出
感想を自由記入	参加型の授業で絵を描くことも多く、絵はそれほどうまくないのですが楽しく参加できました。またペアワークも多く、雰囲気も和気あいあいといった感じで友人を作りやすい環境でした。私のような絵を日常的に描かない学生も参加していますが、絵の上手な学生もいたり、独創的なアイデアや素敵な感性の作品があったりと、人からも作品からも刺激を得られました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Pronunciation and Intonation – British English (B2)	
科目設置学部・研究科	Communication Studies
履修期間	Summer semester 2026
単位数	3ECTS Credits
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回
担当教授	Frommann, Grit
授業内容	教科書や先生が作成したプリントに沿って、ペアワークで文章を発音しながら、実際にイギリス発音を身に着ける。
試験・課題等	音声課題提出、筆記テスト、口語テスト
感想を自由記入	入念な復習と oral exam への準備が必要です。最後の oral test の準備不足で単位は落としてしまいました。先生は熱意のある方で、教え方も分かりやすく復習用の資料もたくさんネットにアップロードしてくださるので、もっと時間をかけて復習すれば取れた授業でした。日本ではめったに習えない British English の発音を学問的に丁寧に学べたのは面白く、一番取ってよかった授業だと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to English Linguistics	
科目設置学部・研究科	Dept. of English and American Studies
履修期間	Summer semester 2026
単位数	3ECTS Credits
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回
担当教授	Pflaeging, Jana
授業内容	英語言語学全般。音声論、押印論、形態論、統語論、意味論、語用論など
試験・課題等	期末テストのみ
感想を自由記入	テスト一発勝負で成績が決まるものの、専門用語の暗記が不十分でテストに合格できませんでした。以前明治大学で似た講義を取っていましたが、内容はその講義よりも多岐にわたり難しかったです。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)

☐就職 ☐進学 ☐未定 ☒その他: 現時点で 4 年生であるため、一年間休学をして就活を行う。

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	TOEFL の勉強、選考、出願
留学開始年	1 月 ～ 3 月	留学決定
	4 月 ～ 7 月	航空券購入、在留許可申請の準備
	8 月 ～ 9 月	滞在先確保、渡航
	10 月 ～ 12 月	授業開始、在留許可申請・取得
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	期末試験
	4 月 ～ 7 月	帰国
	8 月 ～ 9 月	就活開始
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留學生活全般等について、アドバイスを記入してください。

留学先国としては、せっかく第二外国語として講義を取っていたドイツ語圏に留学してみたいという気持ちがありました。加えて、大学 1 年の春学期にオーストラリアへの短期留学をした経験があり、英語圏にはこだわっていなかったため。何よりも一度も行ったことのないヨーロッパの文化・歴史に実際に触れる、そしてヨーロッパ側からの視点で授業を受けてみるためです。そしてドイツ語の講義で、1 年間ザルツブルク大学留学を終えて帰ってきた方と一緒に、そのころ出願も近づき留学先に迷っていた中、ザルツブルクお勧めしていただいたことが、留学先をザルツブルク大学に最終的に決めた要因としては大きいです。ドイツ・オーストリアの協定校を比較してみて、関心のある社会問題についての講義も開講されていることから、ザルツブルク大学を選びました。

留学を開始した最初は特に、慣れない海外・一人暮らし、初めてということと重なるトラブル、難しい講義、複雑な手続きなどで精神的に落ちこむこともあり、日本に帰りたいと強く思うこともありましたが、それらを乗り越えだんだんと慣れていって、途中からは本当に一年間留学して、留学先としてザルツブルクを選んでよかったと心の底から思います。留學中、本当に楽しくて留学できる自分が恵まれていると感じる一方で、思っていたこと、苦しんだことも多かったです。他の留学生と比較して、「自分はせっかく留学させてもらっているのにダメだ、他の子のように頑張っていない」と思うことも多々ありました。しかしそんな留学を通して、私が楽しんだことが私だけのもののように、私が苦しんだことも私だけのもので、全てが私の糧になっているのだと実感できたのが一番大きいです。

自由時間も多く、「海外で留學生活を送っている」という時よりも、「リアルな海外生活を送っている」と思うことも多かったです。とくにヨーロッパの冬は早くから寒くなり、ずっと暗く、雪も多く、外出もしづらくなるため気分的に落ちこみやすかったです。そうした余暇には旅行やザルツブルクの周りの地域に軽く足を延ばしてみたり、自分の趣味を始めたりしました。オーストリア・ザルツブルクは他の国・都市へのアクセスも良く、私は留學中に一回飛行機を使った以外は Flix Bus と電車で多くの国・都市へ行くことができました。島国である日本とは違って、国境も超えやすく、異なる文化に触れやすいのはヨーロッパ留学の大きな魅力だと心の底から思います。また、ザルツブルクの KlimaTicket という定期を購入すれば、Salzkammergut という湖と山にはバスで数十分程度で行けるため、定期の元を取るためにも、気分転換にも行くことをお勧めします。美しい湖が本当に多く癒されます。

ザルツブルクは治安も良く、人も本当に優しい方が多く、自然も豊かで小さな街なので生活しやすいのに加えて、(大都市ほどではありませんが)観光地としての見どころも多いので、興味がある方はぜひよく調べてみてください。